



ライフサイエンスアントレプレナー 入門塾2018



講師プロフィール

2018年 5月19日 (土)

「ヘルスケア・健康科学ビジネスにおけるニーズを考える
～儲かる「価値」ともうからない「価値」の創り方～」



並木幸久

株式会社国際総合知財ホールディングス 代表取締役社長
(元英国国際通商省/英国貿易投資総省/駐日英国大使館 専門官)

【概要】

年収、株価、物やサービスの価格など、その値と価値の関係を事例と共に考察し、その関係に隠れている法則や原理を探求します。それにより価値の錬金術やその性質に気が付くことで儲かる「価値」や儲からない「価値」を設計したり創出したりすることが可能となります。この基本原理をビジネスに応用することで新規事業の開発や隠れた収益を顕在化させることに役立ちます。

【略歴】

- 南カリフォルニア大学バイオメディカル電子工学部卒業
- 南カリフォルニア大学大学院工学研究科バイオメディカル工学専攻卒業
- 九州大学大学院工学府エネルギー量子工学専攻博士後期課程修了・卒業

日本で最初のTLO(技術移転会社)となる(株)国際総合知財ホールディングスを2006年に設立し、(独)産業技術総合研究所から独立。日米欧亜露間の技術・知的財産取引、バイオ・ヘルスケアベンチャー企業の創出及び経営において15年以上従事。国内外の政府、企業、研究機関、大学、官公庁の業務に従事。現在九州大学客員教授、山口大学客員教授として価値工学を研究し、企業や学生の創業支援、国際技術ビジネス戦略教育及びデータサイエンス教育に従事。法人においてはコーポレートベンチャーキャピタル設立支援、国際事業開発支援、知的財産運用支援、新規事業開発支援及び国際人材育成等に従事。

2018年 6月16日 (土)

「勃興するバイオエコノミーと岐路に立つ日本

～デジタル×バイオ時代の到来～



山本一彦

神戸大学大学院 科学技術イノベーション研究科 教授
経営学研究科 教授 (兼任)
一橋大学大学院 国際企業戦略研究科 客員教授
株式会社科学技術アントレプレナーシップ 取締役

【概要】

- バイオテクノロジーの主眼は、生物を「知る」「観察する」「解析する」時代から、生物を「利用する」「デザインする」時代へ、劇的に変化している。
- 合成生物学(ゲノム編集、ゲノム合成等)とデジタルプラットフォーム(AI, Robotics, IoT等)の急速な発展と融合によって、稀少な有用物質の大量生産、医薬品等有用物質の安定供給、天然物・非天然物の安定供給、機能物質の進化的自由設計等が可能な、バイオエコノミー時代が到来した。
- 勃興するバイオエコノミーと岐路に立つ日本の現状及び課題を、海外の先端事例等を交えながら考察する。

【略歴】

住友電気工業(株)、(株)野村総合研究所(企業財務調査室)を経て、ベンチャー企業などで財務、経営戦略の責任者を経験。1998年に株式会社クラシック・キャピタル・コーポレーションを創業し、代表取締役に就任。創業期専門のベンチャーキャピタリストとして、長年にわたりベンチャー企業の投資育成に取り組む一方、企業金融の専門家として、中堅・大手企業に対してM&A・財務戦略などのコンサルティングを提供。2016年1月に神戸大学発ベンチャーの創業支援等を目的に設立された(株)科学技術アントレプレナーシップの取締役に就任(現任)。2016年4月に神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科教授に就任(現任)、それに伴い(株)クラシック・キャピタル・コーポレーションの代表取締役を退任。2017年9月に神戸大学とサンスター(株)の共同事業としてウイルス安全性評価を行う受託機関、ViSpot(株)の取締役に就任(現任)。一橋大学商学部経営学科卒業(1988年)

2018年 6月16日 (土)

「バイオベンチャーの目論見書解説」



松田一敬

合同会社SARR 代表執行社員
神戸大学 客員教授

【概要】

今日、あらゆる局面でリーダーシップの重要性が唱えられているが、一方でリーダーシップの本質とは何かという問いに明確に答えられる人は少ない。多くの場合リーダーシップとマネジメントが混同され、組織でのリーダーシップ開発が間違った方向に進められているケースも少なくない。本講では、リーダーシップに関する様々な疑問に答えつつ、リーダーシップの本質を定義し、リーダーとして心に留めておくべき重要な点を解説する。

【略歴】

慶応大学卒業後、山一証券(株)証券引受部を経て、同社ロンドン現地法人にて中東、アフリカ、東欧諸国等を担当。国内初の地域密着型VCである北海道VC設立。2000年6月に札幌Biz Cafeを設立、サッポロバレーのITベンチャーを支援。2000年9月、国立大学発ベンチャー第1号の設立に関与する等、大学発ベンチャー支援の国内の草分け。製薬企業向けマイルストーン契約の締結等、知財の事業化の実績を積む。2011年4月、京都に合同会社SARR設立。起業家教育、NEDOの科学技術商業化プログラムの企画・運営等、ハイテクスタートアップの支援等を行っている。慶応(経)卒、仏INSEADにてMBA、北海道大学にて医学博士取得。文部科学省科学技術・学術審議会委員、AMED科学技術調査員等公職多数。

専門分野: 起業家支援、科学技術の商業化、ベンチャーファイナンス、バイオ産業
www.sarr-llc.com

2018年 7月21日 (土)

「基礎研究活動と事業化 —理研シーズの事業化例—」



片岡洋祐

株式会社Kokorotics 代表取締役社長

【概要】

大学や公的研究機関での基礎研究を主な生業としながら、同時に事業を展開することは一般に難しいとされています。もちろんさまざまな工夫が必要である一方、事業で得たアイデアは基礎研究にも大いに役立つとも感じています。講演では、理化学研究所の研究者として私が進めてきた脳科学・疲労科学研究の中で、どのようなシーズを事業化へ結び付け、事業をどのように進めてきたのか、理研シーズの事業化例としてご紹介させていただきたいと思います。また、その中で事業から学んだアイデアがどのように基礎研究へフィードバックされているかなど、事業化のメリットについてもお話できればと考えています。

【略歴】

平成8年に京都大学大学院医学研究科にて医学博士を取得後、大阪バイオサイエンス研究所研究員、関西医科大学講師、大阪市立大学大学院医学研究科講師を経て、平成21年より理化学研究所チームリーダー。専門は生理学、脳科学、疲労科学、イメージング科学。現在、岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科・岡山大学大学院医歯薬学総合研究科客員教授。また、平成27年より、主観的気分測定ツール「KOKORO スケール」等を用いてさまざまな生活・ビジネスシーンでの心理調査・解析と、マーケティングツール・コミュニケーションツールの開発をおこなう理研ベンチャー「(株)Kokorotics」を設立し、代表取締役を務める。

2018年 7月21日 (土)

「判断力～理論と直感」



山口 周

コーン・フェリー・ヘイグループ株式会社 シニア クライアント パートナー

【概要】

経営学者のヘンリー・ミンツバーグによれば、優れた経営は「アート、サイエンス、クラフト」の三つの絶妙なバランスによってはじめて成り立つとされます。しかし、昨今の経営では、過剰にサイエンスを重視し、アートがないがしろにされる傾向があります。なぜ、そのような事態が発生するのか、その結果としてどのような悪影響があるのか、この状況を改善するためになにが求められるのかについて、お話しできればと思います。

【略歴】

電通、ボストン・コンサルティング・グループ、A.T.カーニー等を経て、コーン・フェリー・ヘイグループに入社。消費財、メディア、流通、情報通信等の業界に対し、事業戦略策定、人材活性化、イノベーション促進等のテーマでのコンサルティング経験が豊富。

慶応義塾大学文学部哲学科卒業、同大学院文学研究科修士課程修了。

著書に『外資系コンサルの知的生産術』、『世界で最もイノベティブな組織の作り方』、『世界のエリートはなぜ「美意識」を鍛えるのか?』、経営における「アート」と「サイエンス」』(光文社新書)などがある。

2018年 8月25日 (土)

「知財戦略 知財実務40年から見えること」



山本秀策

山本特許法律事務所 弁理士

【概要】

ビジネスは稼げてこそのこと。起業を志す人、既に起業をしている人はこのことを外してはならない。そのためのポイントを知財の観点から論じてみる。

【略歴】

1966年 大阪大学工学部醗酵工学科
1966年 キッコーマン醤油株式会社
1974年 弁理士登録、同社退社
1978年 米国Armstrong, Nikaido, Marmelstein & Kubovcik
1978年 米国The Catholic University of America Law School
1979年 USPTO Patent Academy
1979年 山本秀策特許事務所開設
2014年 山本特許法律事務所(弁理士)。知財法業務と一般法律業務を一体的に行う総合法律事務所(代表・弁護士 山本健策)。
2015年 三菱東京UFJ銀行と業務提携
2017年 福島県と知財戦略一貫事業の業務委託契約

日本弁理士会／大阪商工会議所(ライフサイエンス振興委員会副委員長・企業法制委員会副委員長・サービス産業部会部会長)／関西経済同友会幹事／大阪大学産学共創本部顧問／大阪大学大学院医学系研究科招聘教授／崇城大学(旧熊本工大)客員教授

2018年 8月25日 (土)

「人と組織を動かすプレゼンテーションの極意」



新名史典

株式会社Smart Presen 代表取締役

【概要】

プレゼンテーションは単なる説明術でも、カッコいいトークテクニックでもありません。優れた技術、優れたソリューションもそのすばらしさを理解していただき、協力してくださる方々に動いてもらってはじめて社会に貢献できます。そのために必須の要素、ストーリー構成、そして魅せ方をトータルで考え、実践いただけるようにノウハウをご提供させていただきます。

【略歴】

1997年 大阪府立大学大学院 農学研究科博士前期課程修了
1997年 サラヤ株式会社入社。技術営業とマーケティング、商品開発業務に従事
2011年 独立起業し、株式会社Smart Presen設立。特に研究者、技術者のプレゼンテーション支援に携わる。
モットーは「ビジネスは伝わってナンボ！」

圧倒的なプレゼン機会の経験をベースに、「人と組織」を動かすためのプレゼンテーション理論を確立。年間280件の企業研修での指導にあたるとともに、MOTスクールでの登壇、奈良先端科学技術大学院大学、おおあs化府立大学などの研究機関での登壇、文部科学省国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)、公益財団法人大阪市都市型産業振興センターなどの各プロジェクトにてプレゼンテーションブラッシュアップの指導にあたる。

2018年 9月15日 (土)

「健康寿命延伸への取組みとその課題」



浦田千昌

認定NPO法人健康ラボステーション 理事長

【概要】

健康づくりの大切さを伝えていく発信拠点、健康寿命延伸に向けての取組みとして、街なかや企業内での出張健康測定会を実施。今までに、200件を超える測定会を行い、40,000人以上を測定してきたなかで、様々な気づきや課題があります。大阪市民の健康意識、測定機器の使いやすさや性能など、私たちが感じる事をお話いたします。

【略歴】

1991年 立命館大学 経営学部経営学科卒業
1991年 旧住友銀行入行
2003年 株式会社育星会入社
2013年 NPO法人健康ラボステーション設立(2015年認定NPO法人へ)

イオンモールや阪急阪神ホールディングスなどでの顧客向け健康測定会をはじめ、コニカミノルタ(株)や住友商事(株)など企業では、社員向け健康測定&栄養相談会を実施。昨年からは、理化学研究所や医薬基盤・健康・栄養研究所との共同研究をスタート。健康人のデータ収集担当としての活躍の場も広がってきています。

2018年 9月15日 (土)

「海外デジタル技術動向のキャッチアップ」



福井知弘

富士通株式会社 サービステクノロジー本部 技術戦略室
シニアマネージャー

【概要】

AIやIoTに代表されるデジタル技術は、人の作業を代替するこれまでのコンピュータ技術の域を超えて、ビジネスや人の生活を変革するイノベーションの原動力となっています。ビジネス競争力を維持し変革を続けるためには、海外を中心に次々と生み出されるデジタル技術を把握し素早くキャッチアップすることが必須となります。デジタル技術の動向をキャッチアップする取組みを紹介するとともに、ライフサイエンス分野の動向について考察したいと思います。

【略歴】

2001年慶應義塾大学政策・メディア研究科を修了。同年、富士通株式会社入社。
地方自治体を中心とした公共システムの企画・開発・運用に従事後、クラウド技術を用いた企業システム構築の技術支援に携わり、2017年より、デジタル技術の研究に従事。

2018年10月20日（土）

「ベンチャー起業とメンタルトレーニング」



安達宏昭

株式会社創晶 代表取締役社長

【概要】

異分野連携による研究成果で大学発ベンチャーを起業して早くも13年が経ちました。その間に5社のベンチャー設立に関わり、多くの苦楽を経験してきました。

今日まで走り続けてこられたのは、補完的な関係が構築できるパートナーと上手く連携できたことが要因として考えられますが、そのベースには、メンタルトレーニングの存在があります。

個人のメンタル状態や他人とのコミュニケーション、新しいことへの挑戦など、いろいろな場面で活用できると思います。

【略歴】

2003年3月 大阪大学大学院工学研究科博士後期課程, 電気工学専攻 修了, 博士(工学)

2003年4月 大阪大学大学院工学研究科 助手

2005年7月 株式会社創晶 代表取締役社長

2011年6月 社会福祉法人あおば福社会 理事

2013年4月 株式会社創晶應心 代表取締役社長

2013年7月 柴又運輸株式会社 顧問

2014年5月 株式会社創晶大学 代表取締役社長

2016年1月 株式会社dotAqua 代表取締役社長

2016年2月 株式会社A・P・M 取締役

2016年3月 株式会社創晶超光 代表取締役社長

2016年7月 大阪大学大学院工学研究科 招へい教授

2018年11月17日（土）

「英国式イノベーションと日本文化」



佐相宏尚

ケンブリッジコンサルタンツ株式会社 代表取締役社長

【概要】

英国には世界トップクラスの大学があり、また世界で2番目にノーベル賞受賞者も多い人材に恵まれた環境の中、数多くの革新的なグローバルスタートアップが生まれてきている。スティーブ・ジョブスのようなカリスマ経営者がほとんどいない中、AIやIoTなど最先端分野で世界をリードするイノベーションが創造できるのは何故なのか、

日本でも同様の仕組みを形作ることができるのかを実例を交えながら考察します。

【略歴】

立命館大学法学部卒業後、日系商社を経て外資系携帯電話メーカー等で事業開発・技術提携・エコシステム構築などを20年以上にわたり担当。スタートアップに参画した後、世界有数の技術コンサルティングファームであるCambridge Consultants Ltd日本法人を2015年2月に設立、ライフサイエンス分野含む様々な日本企業の変革支援に従事。

2018年11月17日（土）

「製薬会社のオープンイノベーション」



有岡伸悟

塩野義製薬株式会社 事業開発部 オープンイノベーション

【概要】

近年、製薬会社の研究開発生産性(上市された医薬品数/研究開発費)は低下の一途をたどっている。この原因の一つとして、製薬会社単独での研究開発が難しくなっている事があげられる。このような背景から、製薬業界では、アカデミアに眠っている医薬品の種を製薬会社に橋渡しする取り組みをはじめ、様々な試みがなされている。今回は上記取り組みを概観し、今後どの様な取り組みが医薬品の研究開発生産性向上に有効なのか、皆さんと一緒に考察したい。

【略歴】

2004年大阪大学大学院工学研究科博士前期課程
2010年北海道大学生命科学院博士後期課程修了
2004年塩野義製薬株式会社入社
事業開発部にてアカデミアシーズの発掘や産産連携等を起点としたオープンイノベーション業務に従事。

2018年12月15日（土）

「リーダーシップの本質と実践」



能見貴人

FORESIGHT & LINX 株式会社 代表取締役社長

【概要】

今日、あらゆる局面でリーダーシップの重要性が唱えられているが、一方でリーダーシップの本質とは何かという問いに明確に答えられる人は少ない。多くの場合リーダーシップとマネジメントが混同され、組織でのリーダーシップ開発が間違った方向に進められているケースも少なくない。本講では、リーダーシップに関する様々な疑問に答えつつ、リーダーシップの本質を定義し、リーダーとして心に留めておくべき重要な点を解説する。

【略歴】

- ・ FORESIGHT & LINX 株式会社 代表取締役社長 (2017 May ~) FORESIGHT & LINX (株) は、国内外の製薬企業やバイオベンチャーのオープンイノベーション、事業開発、創薬戦略に対するコンサルティングと実行支援を行う会社です。特に、海外と国内の企業間でのパートナーリングを専門としています。
- ・ Director, External Science & Partnering, Sanofi Global R&D (2014~2017)
- ・ 製薬研究開発&事業開発 コンサルタント (2007~2014)
- ・ リーダーシップ開発 コンサルタント & 幼児の創造性開発のための教室 主宰 (2007~2014)
- ・ GSK筑波研究所 所長 (2002~2007)、生物科学研究部 部長 (1999~2007)
- ・ ノバルティス 移植研究領域 マネジャー (1996~1999)
- ・ 岡山大学工学部生物応用工学科 助教授 (1990 1996)
- ・ Roche分子生物学研究所 ポスドク (1989~1990)
- ・ 大阪大学産業科学研究所 助手 (1986~1990)
- ・ 東京大学大学院薬学研究科 博士課程修了 薬学博士 (1986)